

令和 5 年 8 月 10 日

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
代表取締役社長 野崎 秀則

横浜駅周辺地区において、横浜市と駅周辺施設の連携による デジタルサイネージを活用した災害時の情報発信が開始されました

横浜駅は、1 日約 190 万人の乗降客数がある日本有数のターミナル駅であり、駅周辺には大型商業施設や業務施設等が集積しているため、大規模な地震が発生した際には、多くの滞留者や帰宅困難者の発生による混乱が生じることが想定されています。

横浜市は、令和 5 年 7 月 19 日、災害時の混乱防止や混乱状況を少しでも早く解消することを目的として、横浜駅周辺の民間事業者等との連携により、駅周辺の商業施設や業務ビル、駅等に設置されている 9 事業者 142 か所のデジタルサイネージ（電子看板）を活用して、災害時に滞留者や帰宅困難者に対して統一的な情報発信を開始することを発表しました。

今回の取組は、横浜市内で初めての取組として、横浜駅周辺地区の複数の民間事業者等との間でデジタルサイネージを活用した情報発信の統一ルールを作成し運用開始したのになります。

デジタルサイネージを活用して表示される情報は、地震・津波の災害種別に応じて、災害発生直後から段階的に災害情報や安全確保に関するメッセージ、一時避難場所の案内などが表示される仕組みになっています。また、日本語だけでなく英語、中国語、韓国語の 4 カ国語に対応しております。

株式会社オリエンタルコンサルタンツ（代表取締役社長：野崎秀則）は、横浜市から「令和 4 年度 横浜駅周辺地区都市再生安全確保計画等の高度化検討業務委託」を受託し、デジタルサイネージを活用した情報発信の内容や運用方法の検討、表示するコンテンツの作成等を担当いたしました。

当社は、これからも地震や津波などの自然災害に対して、ハード・ソフトの両面から対策をご提案し、地域の強靱化、国土の強靱化に向けた防災行政の支援を行ってまいります。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011

URL: <https://www.oriconsul.com/>

統括本部 伊藤・丸山・門司

【デジタルサイネージを活用した情報発信の表示例】

きん きゅう じ しん そく ほう
緊急地震速報
 【Earthquake Early Warning (EEW)】



おお 大きな 地震が、
 くるかもしれません。
 身を 守ってください。
 A strong earthquake
 may hit.
 Protect yourself.

つ なみ じょう ほう
津波情報
 【海啸信息】



つ なみ 津波 が きます。
 高いビルの 3 階以上へ、
 逃げて ください。
 海啸即将到来。
 请跑到高楼的 3 楼以上
 避难。

ぼう さい じょう ほう
防災情報
 【방재 정보】



近くの 一時避難場所は、
 みなとみらい 21 地区 です。
 가까운 일시 대피 장소는
 미나토미라이 21지구
 입니다.

【試験放映時の様子】

